

◎ 本日の卓話 10月20日(火)

「コミュニケーションで築く信頼

～激変の時代にも不変なものは

伝える・つながることの大切さ～

株式会社トゥルース マナーOJTインストラクター

須志田 幸代 さん

◎ 次週の卓話 10月27日(火)

「米山月間にちなんで」

第2640地区米山記念奨学委員会

副委員長 辻 政 秀 さん

◎ 先週の例会記録

✳ロータリーソング 四つのテスト

✳ビジター紹介 なし

✳出席報告 (会員数78名、免除会員4名) 本日出席(10/13) 63名 81.82%

✳メイキャップ 和東へ1名、東南へ2名、城南へ2名

✳S. A. A. (ニコニコ箱) 酒徳俊夫さん、林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、野志幸生さん、細川陽介さん、石川裕之さん、岩元豊明さん、羽原俊哉さん、中野智一さん、濱田 勝さん、河村秀樹さん、塚本貞治さん、瀬川良浩さん、吉田正夫さん、福辺昌紀さん、山本雄太さん、垣本英作さん、森永曉和さん、坂東信幸さん、廣井久道さん、南 修平さん

本日合計 ￥61,500 今年度累計額 ￥766,500

(財団寄付献金箱) 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん

(米山奨学会献金箱) 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん

(青少年育成奨励金) 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、野志幸生さん、細川陽介さん

◎ 会長あいさつ

会長 林 俊行



連休にお伊勢参りに出かけ、鳥羽のミキモト真珠島を見学しました。初めて真珠の養殖に成功した御木本幸吉氏による真珠養殖の歴史や技術について学び、長年の研究と試行錯誤の積み重ねに感銘を受けました。

特に心に残ったのは、海女漁の実演です。20代から70代までの女性が活躍されているそうですが、深い海に潜って漁を行う姿や、海面に戻った際に口笛のような音を立てて呼吸を整える様子に、仕事の厳しさと経験に培われた知恵を感じました。また、夫婦で漁に出る際には、ご主人が船上で命綱を持ち、奥さんを見守るそうです。伊勢湾に受け継がれる伝統の海女漁。その背景にある海女たちの努力と誇り、そして家族の支えを知りえたことは、かけがえのない経験となりました。



誕生日お祝い

新会員を推薦しよう

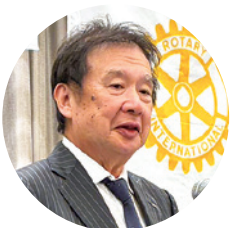
ロータリーに友達または
同僚を1人紹介しよう



幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ (高野山RC、那智勝浦RC)
- 赤い羽根共同募金ご協力の御礼⇒募金額39,000円
(募金協力者に受付にて赤い羽根バッジ贈呈)

委 員 会 報 告



2025-26年度 会計報告

2025-26年度 会計

福 地 達 明 会 員



2025-26年度 監査報告

2025-26年度 会計監査

野 志 幸 生 会 員

卓 話

「公益財団法人 関西・大阪21世紀協会の活動について」



公益財団法人
関西・大阪21世紀協会
常務理事 酒 徳 俊 夫 さん

「公益財団法人 関西・大阪21世紀協会」という団体についてほとんどの皆さんは初めてお聞きになる名前なのではないでしょうか。本日は、設立の経緯、どのような活動をしているかについてご説明したいと思います。

1970年の大阪万博から10年、1980年代に入り、経済活動がどんどん東京にシフトし、あれほど盛り上がった関西・大阪のプレゼンスは低下の一途で、そういった状況を心配した元通産官僚で作家の堺屋太一氏とサントリーの佐治敬三社長(当時)の会話から始まり、今一度、産官の力を合わせ国際的で文化的な大阪を作ろう！ということで「大阪21世紀計画」が策定され、その推進母体として当協会が設立されました。初代会長は和歌山ご出身の松下電器産業相談役(当時)の松下幸之助氏です。

発足後は、「御堂筋パレード」など各種のイベントを開催

し地域を盛り上げたり、都市や地域の「格」を向上させるため、関空や国際会議場、学研都市といった都市基盤の充実に向けた提言や側面支援など、地域活性化のための様々な取り組みを行ってきました。2012年には大阪府・市が当協会を離脱したことを契機に活動範囲を関西一円に広げるとともに公益財団法人化し、70年万博の収益金を基にした万博記念基金と助成事業を継承しました。

現在の主な活動内容は、70年万博記念基金による国際相互理解活動、文化的活動への助成や日本文化を学ぶ外国人留学生への奨学金の「万博記念基金助成事業」、関西経済界および個人の賛助会員の皆さま方からの賛助会費を元にした、関西・大阪の文化力、魅力、知名度の向上により経済・社会を活性化するための活動を行う「文化振興事業」、個人・団体の文化芸術活動についてクラウドファンディングなどを通じ寄付し、サポートに直接かかわることができる「アートサポート関西事業」などです。

和歌山でも、例えば昨年度は和歌の浦薪能や美浜町における日本・カナダの交流事業への助成、県立近代美術館との次世代向けの共同事業など様々な活動を行っています。

21世紀協会は、「文化立都」という基本理念を掲げ、「経済と文化は両輪、双方が並び立ってこそ都市(地域)は繁栄する」という基本認識の下、これからも文化・芸術の充実による関西地域の活性化、都市格(地域格)の向上を目指して活動を展開してまいりますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

※詳しい活動内容などについては当協会のHPをぜひともご覧ください

関西・大阪21世紀協会HP : <https://www.osaka21.or.jp/>



(左から)紹介者の石川会員、林会長、
ゲストの酒徳俊夫さん、紹介者の岩元会員